

NEWS RELEASE

2026 年 8 月 4 日

株式会社 MCA

MCA、「モバイルキャリア各社における屋内展開の現状と将来予測」の販売を開始

～総務省発表値を基にモバイルキャリア各社における屋内展開を総合分析～

移動体通信・IT 分野専門の調査会社である株式会社 MCA（所在地：東京都新宿区西新宿 1-25-1、代表者：天野浩徳、TEL：03-5325-0222）が 2026 年 8 月 4 日に、調査レポート「モバイルキャリア各社における屋内展開の現状と将来予測～総務省発表値を基にモバイルキャリア各社における屋内展開を総合分析～」（価格：税抜 200,000 円）を発刊しました。

「モバイルキャリア各社における屋内展開の現状と将来予測」

<https://www.mca.co.jp/itforecastreport/indoor-basement-report/>

■調査背景

総務省が 2026 年 1 月に、国内の携帯電話基地局数を発表した。それに伴い、モバイルキャリア各社における 5G 屋内基地局数は 2024 年度に 21,311 局となった。屋外を含めた 5G 屋内外基地局数は 15 万 2,603 局あり、その多くが屋外基地局になっており、屋内基地局は一部に過ぎないのが現状といえる。

キャリア別にみると、NTT ドコモが最も多い 9,587 局で、ソフトバンクは最小の 944 局となる。周波数帯別では、3.7GHz 帯が 8,882 局と最も多く、28GHz 帯も 6,196 局になっている。

一方、4G に関しては、総務省から数値が公表されていないため、「無線局等情報検索」を確認した。免許数ではあるものの、2025 年度時点で 24 万 5,995 局の 4G フェムトセル/屋内基地局を確認できた。すべての周波数帯で屋内展開がされている訳ではなく、700M/800M/1.5G/1.7G/2.1G/2.5GHz 帯で 4G フェムトセル/屋内基地局を確認している。

キャリア別にみると、KDDI（au）が最も多い約 11 万 5,067 局、UQ コミュニケーションズは最小の約 5,400 局となる。周波数帯別では、800MHz 帯が 57,929 局、700MHz 帯は 57,138 局と他の周波数帯に比べて圧倒的に多い。ただ、4G に関しては、免許数であるため、最大限設置可能な台数となり、5G のような稼働台数と捉えることは困難といえる。

本レポートはモバイルキャリア各社における各社の通信方式や周波数帯別の屋内基地局数を分析することにより、キャリア各社の屋内展開動向などを明らかにすることを目的とする。なお、

IT Forecast Report

<http://www.mca.co.jp/ifr/top.htm>

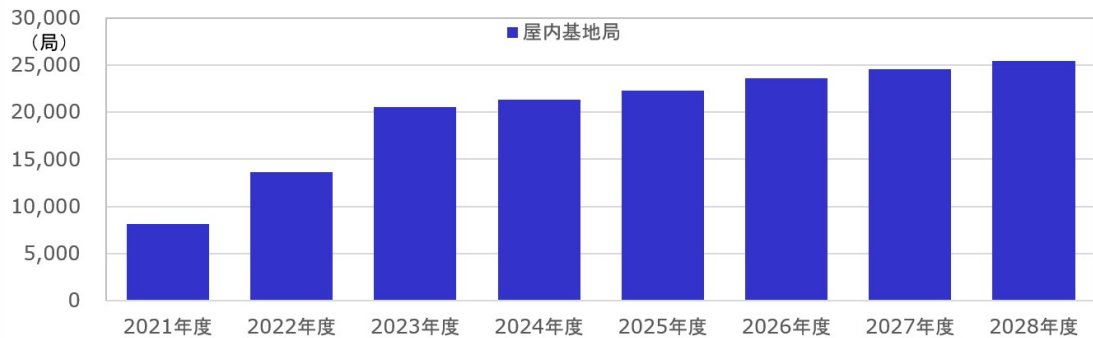
対象は主に屋内基地局やフェムトセル、レピータとなる。

■調査結果抄録

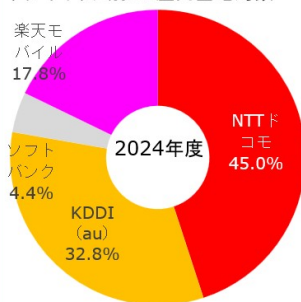
5G サービスの屋内動向

1. 総括 5Gサービスの屋内動向

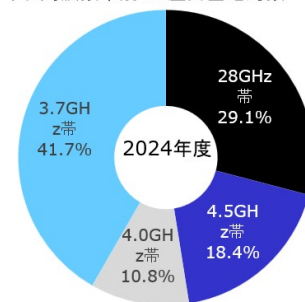
図：5G屋内基地局数の累積推移と予測（2021～2028年度、単位：局）



図：キャリア別5G屋内基地局数



図：周波数帯別5G屋内基地局数



- ✓ 5G屋内基地局数は約2万局
- ✓ NTTドコモの約9,600局が最多
- ✓ 最小はソフトバンクの約1,000局
- ✓ 3.7GHz帯の約8,900局が最多
- ✓ 今後は微増傾向で推移の見込み
- ✓ 2028年度に約2.5局へ拡大

※出典：総務省「携帯電話及び全国BWAに係る電波の利用状況調査の調査結果の概要」

6

■調査レポートのポイント

2021～2024 年度までのモバイルキャリア各社の屋内基地局数実績

2025～2028 年度までのモバイルキャリア各社の屋内基地局数予測

対象周波数帯 (5G: 2.3G/3.7G/4.0G/4.5G/28GHz 帯、4G: 700M/800M/1.5G/1.7G/2.1G/2.5GHz 帯)

JTOWER など屋内シェアリング関連会社の動向も掲載

■調査対象

キャリア：NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、楽天モバイル、UQコミュニケーションズ

関連プレーヤ：DigitalBridge Group、JTOWER、Sharing Design (SDI)、オプテージ、三井不動産ネットワークイノベーション、アイテック阪急阪神

通信機器ベンダ：エリクソン・ジャパン、ノキアソリューションズ&ネットワークス、エアースパン・ジャパン、住友電気工業 (住友電工)、東芝インフラシステムズ (現東芝)、国際電気 (旧日立国際電気)

■調査レポートの主な目次

※詳細な目次は Web サイトの「レポート目次」をご参照ください。

<https://www.mca.co.jp/itforecastreport/indoor-basement-report/>

目次

調査の目的・背景

■調査概要

■調査レポートのポイント

■調査対象

1. 総括

5G サービスの屋内動向

4G サービスの屋内動向（免許数）

2. 市場概況

屋内基地局とフェムトセルを確認できたキャリア各社の周波数帯

5G 屋内外と屋内基地局数の累積推移と予測（2021～2028 年度）

キャリア別 5G 屋内基地局数の累積推移と予測（2021～2028 年度）

周波数帯別 5G 屋内基地局数の累積推移と予測（2021～2028 年度）

4G 屋外基地局/屋内基地局/フェムトセル数（2025 年度）

キャリア別 4G フェムトセルと屋内基地局数（2025 年度）

周波数帯別 4G フェムトセルと屋内基地局数（2025 年度）

キャリア各社の屋内展開手法

3. キャリア各社の動向

3-1.NTT ドコモの動向

3-2.KDDI（au）の動向

3-3.ソフトバンクの動向

3-4.楽天モバイルの動向

3-5.UQ コミュニケーションズの動向

4. 関連プレーヤの動向

キャリア各社による利用拡大が屋内市場に追い風

DigitalBridge Group の動向

JTOWER の動向

Sharing Design（SDI）の動向

オペレーティングの動向

三井不動産ネットワークイノベーションの動向

アイテック阪急阪神の動向

通信機器ベンダ各社の動向

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

- カスタムプロジェクトのフロー
- カスタムプロジェクトのドメイン
- 過去のカスタムプロジェクト実績（一例）
- クライアント属性
- カスタムプロジェクトに関する詳細・お問い合わせ

■調査レポート詳細

発行日：2026年8月

判型：PDF ファイル（A4 版 92 頁）

発行・販売：株式会社 MCA

頒価：200,000 円（税抜）

調査期間：2024年1月～2026年7月

販売方法：pdf ファイルのダウンロード

申込方法：オンライン注文

■株式会社 MCA（MCA Inc.）の会社概要

設立時期：1993年12月1日

代表者：代表取締役 天野浩徳

資本金：1,000 万円

所在地：〒163-0649 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 49F

事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業

- ・カスタムプロジェクト（委託調査）業務
- ・IT Forecast Report（モバイル/IT 調査レポート）の企画/制作/販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA（MCA Inc.、<http://www.mca.co.jp/>）

担当：大門（だいもん）

E-Mail：info@mca.co.jp

TEL：03-5325-0222